

RNN速報

「フィリピン台風 24 号」被災者緊急救援のお願い

RNN事務局長 黒住 宗道

各位

10月18日にフィリピン・ルソン島東部のオーロラ(Aurora)州に上陸した台風24号は、上陸から3日間ルソン島上空に留まり、同島中部から北部にかけての広範囲で水害が発生し、山間部では土砂崩れも多発するなど深刻な被害が発生しています。22日のフィリピン国家災害対策本部の発表によると、およそ100万人が被災し、455以上の避難所に50万人近くが避難しています。パンガシナン(Pangasinan)州では、6自治体で鉄砲水による被害が報告されており、土砂崩れの発生によって孤立し、連絡が取れない地区も多いとのこと。北部の山間部では、強風にあおられて6歳の女の子が橋から川に落下して亡くなるなど、これまでに41人の死亡が確認されています。

パンガシナン州出身のAMDA協力者から、被害が深刻な同州での支援活動の要請を受け、AMDAでは21日に緊急支援の開始を決定、本部から岩本看護師を派遣します。

パンガシナン州は、マニラから北に約200kmのところの位置し、現地からの情報では、現在水が引いた地域もあるものの、いまだに広く浸水しており、電気も通っていない地域があり、被災した人々は避難所に身を寄せ、支援を待っています。岩本看護師はマニラ到着後、パンガシナン州に向け車輻で移動し、23日のうちに被災地に入る予定です。

■本部からの派遣者

岩本智子(いわもと ともこ):看護師(米国資格)/フィリピン担当部長/倉敷市在住 31歳(84年4月生)

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面の切を本日から1ヵ月後の2015年11月22日といたします。宜しくお願いいたします。

RNN定例会議(1998/7/24 開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ② RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク (INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「フィリピン台風 24 号」とご明記下さい。

以上

RNN郵便振替口座

加入者名: RNN

口座番号: 01310-9-63933